

## 環境地質学研究室

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 2026年4月現在、大竹教授、菊池助教、Frances 博士研究員、石田助教、石岡秘書、森特定専門職員のスタッフ6名と、博士課程4名（うち社会人1名）、修士課程6名、学部生4名の総勢20名になりました。3月には、修士4名（うち留学生1名）と学士1名が巣立ち、新たなメンバーで研究活動に励んでいます。もともとアフリカからの留学生が多い研究室でしたが、新たにフィジーやザンビア、ボツワナから留学生を迎えており、より一層国際色が増しています。

研究室では、国内外の鉱床や周辺環境を対象に、天然試料の分析・室内実験・地球化学モデリングを組み合わせ、岩石-水相互作用について研究しています。また、最近では水素生成やCO<sub>2</sub>削減のための鉱物資源の新たな活用にも鋭意取り組んでおります。昨年度はカザフスタンやモンゴルでの野外調査やザンビアでのシンポジウムに参加したりと、学生も教員も出張で大忙しでした。今年度も国内外での調査・学会活動を複数予定しています。研究室の最近の活動や論文・発表の詳細については、当研究室のホームページ (<http://eg-hokudai.com>) やインスタグラムをご覧ください。

昨年度、研究室はなんと創設100周年を迎え、記念行事も開催しました。先輩方との繋がりが研究室にとっての大きな励みとなります。卒業生の皆様、札幌にお越しの際には、是非とも研究室にお立ち寄りください。一同、心よりお待ちしております。



研究室の創設100周年記念祝賀会にて